

# APEX News 13号

## カビを知ろう

最近の建物は気密性が良くなったこともあり、冬でも結露などによりカビを見る機会も多くなってきました。

今回は、カビについての話題です。

### ①代表的なカビの種類

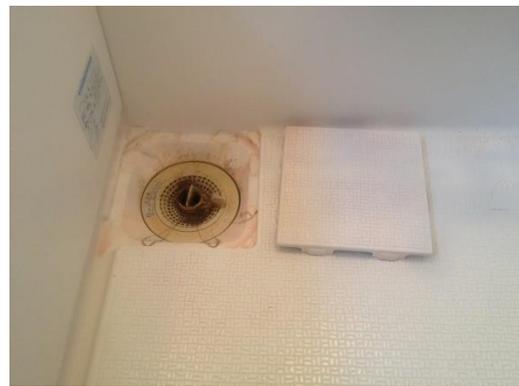
---

#### クロカビ (クラドスポリウム)



結露の多いところに生えるカビとしては代表的な菌種。浴室、壁、お饅頭、ケーキ、野菜、衣類等。

#### アカカビ (フザリウム)



餅、チーズなどの食品、浴室、風呂、タオル、洗濯機など建物の湿気の多い場所など。

#### ススカビ (アルタナリア)



浴室・洗面所・トイレ・キッチン・排水口・エアコン・結露しがちな壁、冷蔵庫等がススカビ発生の要注意箇所です。

#### アオカビ (ペニシリウム)



ほこりはもちろん、穀類や果実といった農産収穫物等にも見られます。靴に発生することもあります。

## ②生活への影響

---

- ・カビの胞子は空気中に漂っており、感染症やアレルギー、中毒などを引き起こします。
- ・カビはチャタテムシ類やヒメマキムシ科等の昆虫類の餌となり、屋内での害虫発生の原因となることがあります。

## ③予防するには…

---

- ・換気をすることが最重要で、家具と壁の間に5センチ以上の隙間を作る、棚に物を詰め込みすぎない、布団は定期的に干す、カーテンも定期的に洗うなどの習慣が必要です。入浴が終わったら浴槽の湯は流し、壁、浴槽・壁にシャワーをかけ、換気をする、1週間に1回、洗剤で洗い水で流すなど、こまめな掃除をして、カビの栄養源となる汚れやほこりを取り除くことも重要です。
- ・湿度を60%以下にエアコン等の空調機を使用して保ち、カビの生えにくい環境を整えることが大切です。

## ④カビが発生してしまったら…

---

- ・マスクとゴム手袋をつけ、窓も開け、換気扇もまわす。布やキッチンペーパーに漂白剤(ピューラックスやキッチンハイターなど)10倍希釈液をつけて湿布する、ビニールで覆い、漂白できるまで放置する、シャワーでよく流し、拭き取り浴室をよく乾燥させる。その後防カビ剤を吹き付けると効果が長持ちします。ただし、人によっては薬剤の臭いや取扱いに慣れていない方もいるので、難しい場合は、専門の業者に依頼するのがよいでしょう。

発行 アペックス産業株式会社

〒105-0014 東京都港区芝 2-23-4

TEL:03-3455-6474 FAX:03-3455-6558

URL: <http://www.apex-sangyo.jp>